



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月30日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流  
コード番号 9055 URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 臼居 賢  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 亀田 智文 TEL 045-532-1982  
経営企画・ESG担当  
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年11月30日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	58,485	△6.2	2,769	△34.1	3,252	△36.2	1,876	△36.9
2023年3月期第2四半期	62,381	11.1	4,204	31.4	5,094	72.2	2,975	74.0

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 3,367百万円（△28.6％） 2023年3月期第2四半期 4,716百万円（104.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	52.95	52.84
2023年3月期第2四半期	84.04	83.84

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	101,024	64,171	58.7	1,671.29
2023年3月期	97,283	62,257	58.9	1,618.10

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 59,265百万円 2023年3月期 57,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	16.00	—	28.00	44.00
2024年3月期	—	22.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	22.00	44.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	1.5	6,700	△16.7	6,200	△29.5	3,800	△24.5	107.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	35,488,600株	2023年3月期	35,474,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	27,888株	2023年3月期	47,488株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	35,443,362株	2023年3月期2Q	35,412,037株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月～9月)における世界経済は、米国では個人消費、雇用環境が堅調に推移し、全体として景気は底堅く推移しました。欧州においてはインフレと金融引き締めの影響により景気減速が続いています。中国では不動産市場の調整長期化や、国内外での財需要の不振を受けて輸出の回復力も弱く経済成長は力強さを欠いています。日本経済は、インバウンド消費などを中心に回復がみられ、製造業においては自動車が増産基調で推移しましたが、在庫調整の影響などにより産業用機械や電子部品などは弱含みで推移しました。

このような事業環境下、3カ年の第5次中計2年目の当期は、引き続き基本方針を「地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化」とし、次の戦略・施策を推進しグローバルにビジネスの拡大を図っております。

- ①G T B (Get The Business / 市場と商品の拡大) : ビジネス領域の拡大。グローバルネットワークの充実。協創・提携体制の拡充。
- ②G T P (Get The Profit / 間・直の生産性向上) : 省人化・自働化の推進。戦略投資の拡大と確実な刈取り。DXへチャレンジ。
- ③G T C (Get The Confidence / サステナビリティの追求) : ESG対応の強化、安全・高品質の維持確保。非財務資本の維持・強化。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は58,485百万円(前年同期比 6.2%減)、営業利益は2,769百万円(同 34.1%減)、経常利益は3,252百万円(同 36.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,876百万円(同 36.9%減)となりました。

#### <セグメントの概況>

##### ①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界においては、半導体などの部品供給不足が緩和に向かい車載関連の生産は回復傾向となりましたが、需要が低迷しているパソコン、スマートフォンなどの民生機器、情報通信機器関連の生産は低調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間においては、新規顧客への拡販などに注力しました。しかし、貨物取扱量減少の影響などにより売上高は減収となりました。利益面では、生産性向上に取り組む一方で、荷動きの停滞に伴う効率悪化、国際輸送を取り巻く競争環境の激化などの影響により減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高31,181百万円(前年同期比 13.7%減)、営業利益1,693百万円(同 43.2%減)となりました。

##### ②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。当社では、調達と物流を一元化した電子デバイスの調達代行の提案、物流改善を意識した包装資材の提案を特長としております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、北米向けの車載関連で電子デバイスの販売が増加したことから、売上高が増加しました。利益については、原価率上昇などの影響により減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高13,062百万円(前年同期比 5.3%増)、営業利益515百万円(同 17.4%減)となりました。

##### ③消費物流事業

消費物流分野では、宅配サービスや通販ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境下、当社グループで消費物流を担う(株)流通サービスは、消費物流の川上にあたる企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、宅配需要低下などの影響により生協宅配の取扱量は若干減少しました。EC通販関連では、荷動きが堅調に推移したことなどにより売上高は増加しました。利益については、自働化による効率の改善、労務費削減などにも取り組みましたが、倉庫増床による賃借料、支払運賃などのコスト増加要因があり減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高14,240百万円(前年同期比 2.8%増)、営業利益560百万円(同 6.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

前連結会計年度末と比較した当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産は、現金及び預金などが減少しましたが、受取手形及び営業未収金などの増加により、769百万円増加しました。固定資産は、主に有形固定資産の増加などにより2,971百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比3,740百万円増の101,024百万円となりました。

負債については、営業未払金の増加などによって流動負債は1,510百万円増加しました。固定負債はリース債務を含むその他の増加などにより315百万円増加しました。これにより負債合計は、前連結会計年度末比1,826百万円増の36,852百万円となりました。

純資産については、利益の確保による増加、為替換算調整勘定の増加などに対し、配当金支払による減少などがあり、前連結会計年度末比1,913百万円増の64,171百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末比0.2ポイント低下し、58.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末の残高は、前連結会計年度末と比べ182百万円減少し、26,467百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、税金等調整前四半期純利益3,239百万円などにより4,207百万円(前年同期比803百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2,671百万円(前年同期比1,047百万円の支出増)となりました。主な支出内容は、新倉庫建設や生産性向上のための有形・無形固定資産の取得です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2,686百万円(前年同期は1,943百万円の獲得)となりました。主な支出は、リース債務返済1,139百万円、配当金支払991百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年4月28日付「2023年3月期決算短信」で開示した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,264	26,759
受取手形及び営業未収金	17,578	18,712
商品	1,968	1,943
その他	2,740	2,906
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	49,534	50,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,609	12,449
土地	18,008	18,055
その他（純額）	10,062	12,784
有形固定資産合計	40,680	43,289
無形固定資産		
その他	3,862	3,892
無形固定資産合計	3,862	3,892
投資その他の資産		
投資有価証券	177	232
その他	3,029	3,308
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,206	3,539
固定資産合計	47,749	50,720
資産合計	97,283	101,024
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	11,147	12,350
短期借入金	2,918	2,859
未払法人税等	1,262	990
賞与引当金	1,972	2,015
役員賞与引当金	—	16
その他	6,166	6,745
流動負債合計	23,467	24,978
固定負債		
長期借入金	4,200	4,200
役員退職慰労引当金	37	33
退職給付に係る負債	1,938	2,014
その他	5,383	5,626
固定負債合計	11,558	11,874
負債合計	35,026	36,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,349	2,353
資本剰余金	2,030	2,049
利益剰余金	50,956	51,840
自己株式	△33	△19
株主資本合計	55,301	56,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	84
為替換算調整勘定	2,165	3,127
退職給付に係る調整累計額	△189	△171
その他の包括利益累計額合計	2,022	3,040
新株予約権	53	44
非支配株主持分	4,879	4,861
純資産合計	62,257	64,171
負債純資産合計	97,283	101,024

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	62,381	58,485
売上原価	54,283	51,568
売上総利益	8,098	6,917
販売費及び一般管理費	3,894	4,147
営業利益	4,204	2,769
営業外収益		
受取利息	37	49
受取配当金	4	6
為替差益	782	516
その他	214	67
営業外収益合計	1,038	641
営業外費用		
支払利息	132	125
その他	16	33
営業外費用合計	148	158
経常利益	5,094	3,252
特別利益		
固定資産売却益	1	7
その他	0	—
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産除売却損	9	20
特別損失合計	9	20
税金等調整前四半期純利益	5,086	3,239
法人税、住民税及び事業税	1,476	1,160
法人税等調整額	41	△55
法人税等合計	1,518	1,105
四半期純利益	3,568	2,134
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,975	1,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	592	257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	38
為替換算調整勘定	1,111	1,175
退職給付に係る調整額	18	18
その他の包括利益合計	1,147	1,232
四半期包括利益	4,716	3,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,908	2,895
非支配株主に係る四半期包括利益	808	471

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,086	3,239
減価償却費	2,143	2,362
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,233	△744
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△47	70
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,148	1,006
その他の負債の増減額 (△は減少)	△62	△31
その他	315	△151
小計	6,350	5,752
利息及び配当金の受取額	39	55
利息の支払額	△130	△126
法人税等の支払額	△1,249	△1,477
その他	0	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,010	4,207
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△865	△2,533
有形固定資産の売却による収入	3	20
無形固定資産の取得による支出	△389	△377
その他	△372	218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,624	△2,671
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3	1
長期借入れによる収入	4,200	—
長期借入金の返済による支出	△66	△66
株式の発行による収入	—	0
リース債務の返済による支出	△1,204	△1,139
配当金の支払額	△601	△991
非支配株主への配当金の支払額	△386	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,943	△2,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	878	968
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,208	△182
現金及び現金同等物の期首残高	22,132	26,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,340	26,467

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額(注)
	電子部品物流事業	商品販売事業	消費物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,128	12,405	13,847	62,381	—	62,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	36,128	12,405	13,847	62,381	—	62,381
セグメント利益	2,983	623	596	4,204	—	4,204

(注)セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額(注)
	電子部品物流事業	商品販売事業	消費物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,181	13,062	14,240	58,485	—	58,485
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,181	13,062	14,240	58,485	—	58,485
セグメント利益	1,693	515	560	2,769	—	2,769

(注)セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。